



20号  
2018年12月4日(火)  
西原東中学校進路担当

学習発表会に向けて合唱や群読、志望校のパフレット作成と3年生のみなさんにとっては忙しいこの頃ですが、中学校最後の学校行事になるので、31期生のチームワークで盛り上げ、最高の思い出を作っていきます。

さて、先日行われた2学期中間テストの結果はどうでしたか。早いもので一般入試まで100日をきり、あと92日になりました。中間テストも終わったばかりですが、今月には技能教科最後のテストもあります。また、冬休み明けすぐに3年生最後の学年末テストもあります。「次がんばろう」の「次」はもうありません。悔いのないよう、生活態度、学習態度を見直しつつ、計画的に学習していきます。

また、12月には三者面談もあります。1月下旬の三者面談は、志望校を最終決定して書類を確認し印鑑を押すだけのものです。まだ決進路を決めていない人はそれまでに自分がどうしたいのか、保護者ともよく相談して、できるだけ早めに志望校を決定していきます。

## 【12月の主な進路関係日程】

日	曜日	学校行事	進路関係	Count Down
1	土		沖縄カトリック高校推薦入試試験日 沖縄尚学推薦入試申込～7日(金)	95
2	日		沖縄カトリック高校推薦合格発表	94
3	月	生徒会役員選挙 学年会	第3回校内推薦判定会議(全職員・決定) 興南高校推推薦入試申込～5日(水)	93
4	火	教育相談⑥	校内推薦判定合否通知(放課後)	92
5	水	学習発表会リハーサル	推薦志願者説明会(放課後) 県立高校推薦書類提出～21日(木)	91
7	金	学習発表会準備		89
8	土	県中学校文化祭(～9日)	興南高校推推薦入試試験日	88
9	日	学習発表会	沖縄尚学推薦入試試験日	87
10	月	代休	沖縄高専推薦入試申込開始～14日 (金)	86
11	火	職員会議 校内研	興南高校推薦入試合格発表	85
12	水	三者面談①	沖縄尚学推薦入試合格発表	84
13	木	三者面談②		83
14	金	三者面談③		82
20	木	3学年学年末テスト(技能教科) 生徒会専門委員長面接会(放課後)		76
21	金	学年朝会	県立高校推薦書類提出校内締切(厳守)	75
25	火	全体朝会(2学期前半終了)		71
26	水	冬休み～1月6日 職員会議		70

## 卒業生がおくる応援メッセージ パート2

首里高校(染織デザイン科)1年 上原 希天<sup>のあ</sup> 先輩

染織デザイン科は、県内で唯一、沖縄の工芸である紅型や織りを学べる学科です。学級数は各学年ごとに1クラスずつで、同じ仲間と3年間を過ごします。圧倒的に女子が多いですが、

男子もいます。先輩達とも交流があり、仲がよいです。授業は、普通科と比べてゆっくり進みます。定期テストは、国語総合とコミ英語Ⅰ以外は、染織デザイン科に合わせた内容なので、席次で学年総合はないです。2種類の模試もありますが、それは普通科に合わせているので習っていない範囲もあり不利になります。週1でコメタンと古文単語の小テストがあったり、染織デザイン科もたくさん勉強します。

実習は、1、2年生は4ローテーション授業で、「デッサン→織り→色染化料→染め」の順番で10人ずつ、約3ヶ月ごとにまわります。3年生は織りか染めに分かれ、卒展に向けて着物製作をします。染め、織りだけではなく、美術（工芸）を基礎から習ったり、色彩検定も取得できます。自習室は、工房みたいに道具や設備などが整っていて環境がいいので、そのぶんとても楽しいです。

卒業後の進路も様々で、芸大、看護系、保育系、専門学校、琉大と、本人の頑張り次第でいろいろなところに行けます。

進路で迷っている人もたくさんいると思います。将来について具体的にやりたいことがあるなら、工業とか、商業とか、内容に合わせて決めてもいいし、決まってないなら普通科で勉強してから大学や専門学校に行くのもいいと思います。

## 浦添工業高校（調理科）1年 仲地 百華 先輩

調理科の先生方は厳しいですが、先輩とは仲がよいです。

今頑張っていることは、調理科にとって命ともいえる包丁を、毎日、また週に3回ほど朝早く研ぎに来たり、野菜や魚のさばき方を1年生のうちでマスターしないといけないので、自宅でも魚をさばいたりしています。

通学方法は、バス通学です。33番で西原から西原入り口まで乗って、56番に乗り換えて浦添小学校前で降り、学校まで歩いています。西原からはけっこう距離があるので、初発のバスで行くことがちょくちょくあります。

浦添工業には、情報技術科（1、2組）、インテリア科（3、4組）、デザイン科（5、6組）、そして調理科（7組）の4つの学科があります。調理科だけは1クラスなので3年間メンバーが同じになります。調理科には専門科目があって、1年は調理、食文化、栄養、2年、3年になると、調理、食文化、栄養、食品、食品衛生、公衆衛生、総合調理が入ってきます。専門科目に関しては、1回でも欠席してしまうと補習があります。補習を受けないと調理師免許が申請できないので、あまり休むことができません。

部活動は、写真部と放送部が強くて、野球部も10年ぶりに優勝したそうです。

高校、学科を決めたのは、小学4年の時です。最初は、ただ単純に自分でおいしいものを作って食べたかったのが理由ですが、調理に関する知識を身につけてそれを将来につなげていきたいと思うようになりました。

勉強方法としては、塾には行っていなかったので、パソコンで「19ch」の動画を活用していました。学校では、先生方の時間があるときをお願いして教えてもらいました。きついときにはゲームしたりして気分転換しました。いやだなんて思いながら勉強しても頭に入らないので、そのときは勉強から離れました。

まだ進学先が決まっていないなら、とりあえず普通高校を受けて、その3年間で色々チャレンジして決めていったらいいと思います。工業だけでなく、実業高校は、普通科と比べて専門科目が多いので、5教科の授業が減るからです。進学先が決まっている生徒は一直線にがんばればいいと思います。偏差値だけでなく、どういう高校なのか細かく調べるのもいいと思います。

今だから言えることは、ちゃんと勉強しておくべきということです。ぎりぎりになってやり始めたら焦って大変だと思います。やっておけばよかったことは、もう少し勉強すべきだったことと、実績作りや資格を取得しておけばよかったということです。逆にやってよかったことは、2年生の後半から生徒会役員をやっていたことです。生徒会をやっていたことで、今も生徒会を続けることにつながっているし、機敏に行動できるようになたからです。不安に思っていたことは、今の自分で希望している高校に行けるかという不安が大きかったです。先生から「大丈夫だよ」と励まされても、その不安が1番大きかったです。

高校の最初のイメージとしては、どの科も厳しそうに思ったけれど、先生方も優しくておもしろい先生ばかりで、今はとても楽しいです。

